

滋賀県知事選挙の告示にあたって

(滋賀県選挙管理委員会委員長談話)

任期満了に伴う滋賀県知事選挙は、本日告示され、来る6月24日に投票が行われることとなりました。

今回の選挙は、本県の内外ともに重要な課題が山積している状況にあつて、今後4年間の滋賀県政のかじ取りを担う新しいリーダーを選ぶ極めて重要な意義を有する選挙であります。

有権者の皆さんにおかれましては、選挙公報や政見放送などを通じ、各候補者の政策や政見を十分に考察され、積極的に投票に参加し、これからの県政を託するにふさわしい代表者を選んでください。

また、当日投票に行くことができない場合は、期日前投票制度や不在者投票制度をご活用ください。

申し上げるまでもなく、選挙は、民主主義の基盤をなすものですが、近年の投票率の低下傾向は、極めて憂慮すべきことであります。

とりわけ今回は、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられて行われる初めての滋賀県知事選挙であります。若者の意思をより一層政治に反映させることができる極めて意義深いものであり、新たに有権者となる方々は、政治や社会の問題を自分の問題として捉え、決して棄権することなく、投票してください。

一方、候補者をはじめ選挙運動関係者におかれましては、正々堂々と政策や政見を訴えられることはもとより、公職選挙法をはじめとする関係法令を遵守し、違反のない明るく正しい選挙運動を展開されるよう、強く要望します。

平成30年(2018年)6月7日

滋賀県選挙管理委員会

委員長 世古 正